

## ◆前戦略の振り返り

### ■前戦略の内容

- 「人々を魅了し続ける屋根のないミュージアム“SACAY”」をめざす姿とし、歴史文化資源を活用した観光を推進

※期間は、2021（令和3）年度～2025（令和7）年度の5年間

「人々を魅了し続ける屋根のないミュージアム“SACAY”」の考え方

- ▶ 歴史文化資源を活用し質の高いサービスを提供することにより、来訪者にとっての観光魅力と市民や事業者のおもてなしの心を創出し、歴史文化資源を後世へ継承する

### ■KPI実績

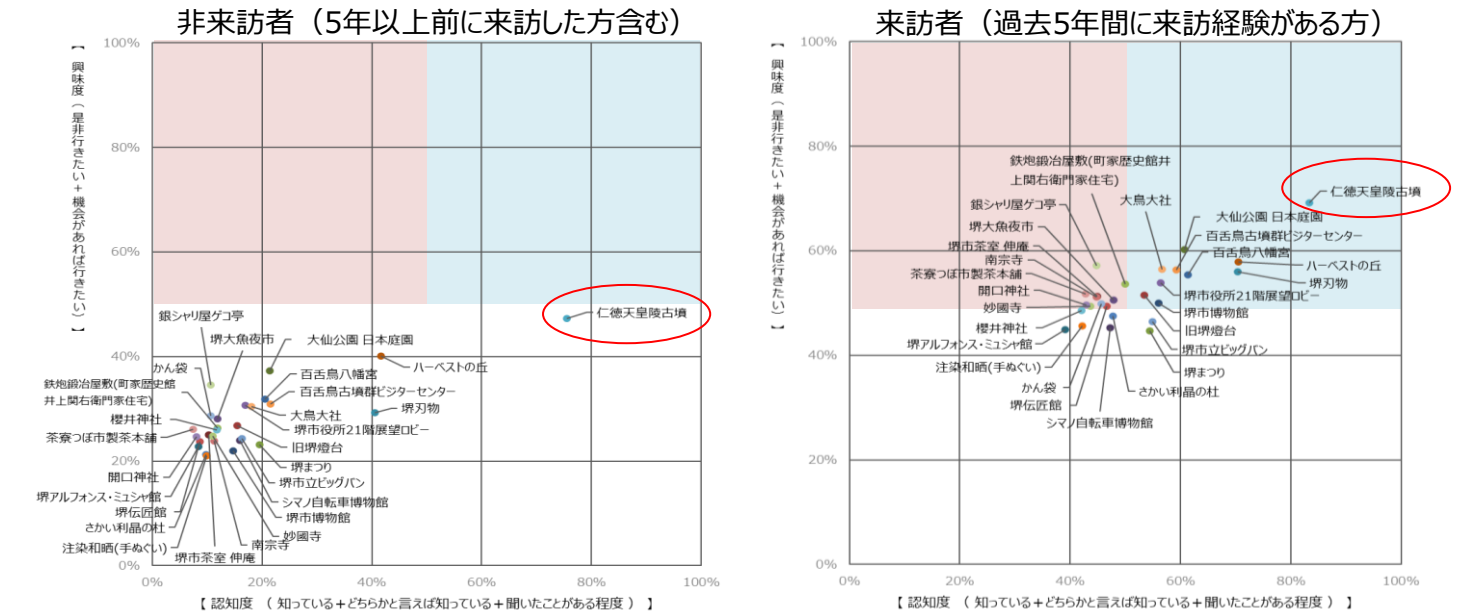
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドの受入対応及び世界遺産効果の向上に十分に取組めないまま大阪・関西万博への準備を進めることとなった
- KPIは、①重点エリアへの来訪者数、②リピート率、③観光消費額単価を設定
  - ➡①は新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、コロナ禍前の水準まで回復しておらず、また③は令和元年度をピークに大きく減少
- 最大の好機であった大阪・関西万博の会期を含む2025（令和7）年4～10月の状況は以下のとおり
  - ▶ 重点エリアへの来訪者数（前年同期比）は、大仙公園エリアは133%、環濠エリアは99%で横ばい
  - ▶ 観光消費額単価は、前年度比で約125%（4～7月に来訪した方の暫定値）

## ◆参考データ

### ○国内来訪者数及び消費額単価の推移

項目	エリア	現状値 2019（令和元）年度	2021（令和3）年度	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	目標値 2025（令和7）年度
来訪者数	大仙公園	29.4万人	18.2万人	22.6万人	21.1万人	22.2万人	16.2万人（4～10月）	60万人
	環濠	182.6万人	176.9万人	188.9万人	184.4万人	185.5万人	107.0万人（4～10月）	300万人
観光消費額単価	市内全域	16,355円	9,345円	8,972円	9,424円	10,046円	12,518円（4～7月）	20,000円

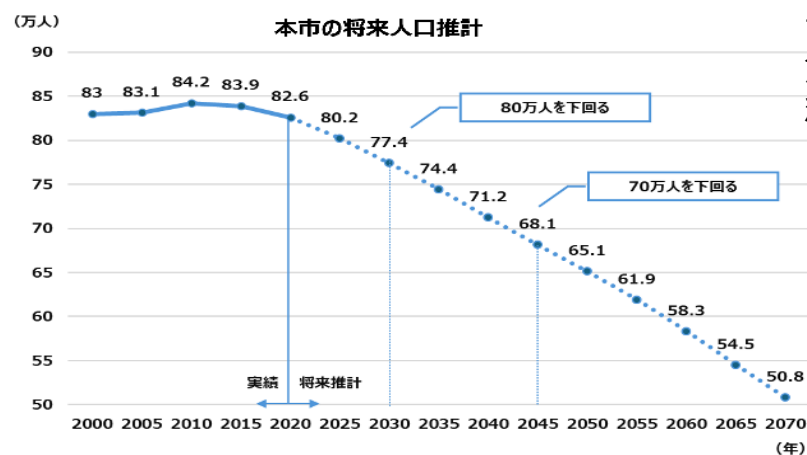
### ○観光資源の認知度・興味度



## ◆持続可能な堺観光の実現に向けて

### ■観光振興の必要性

- 堺市の人口は2045（令和27）年には70万人を下回る見込み
- 都市の活力を維持、向上させるため、交流人口の増加が必要
- 人口減少や団塊世代の旅行市場からの退出により、国内旅行者全体は今後減少すると推測される



安定的な国内需要を拡充しながら急成長しているインバウンド需要を積極的に取り込むことが重要

## <戦略策定の考え方>

### ■位置づけ及び対象期間

- 「堺市基本計画2030」等の方針に沿って、展開すべき観光の方向性を提示
- 対象期間は2026（令和8）年度から2030（令和12）年度までの5年間

### ■目的

- 歴史文化資源の継承
- 地域経済の活性化

### ■目的達成のためにめざす姿

- 観光の効果（来訪者の増加・消費の拡大）により、好循環を創出

※好循環とは…来訪者による消費が地域経済を活性化させ、利益が投資に繋がり、さらに魅力が向上する等、互いに良い影響を与えていること

